




# ウォークラリー

活動名	ウォークラリー(3.5km、7km、10km、12km)			
概要 (セールスポイント)	ウォークラリーは、グループで「コマ図」をたよりにコースを歩き、得点やタイムを競うゲームです。ポイントに問題を設定することもできます。自然を感じながら、各グループで協力しながら活動します。			
諸条件	場所	交流の家周辺	対象	小学生以上
	所要時間	60分～270分	人数	制限なし
	時期	通年	天候	荒天時不可
活動の 教育的効果	(1)グループの仲間と全行程を歩くことで、自然に親しみ達成感を味わうとともに、互いに励まし合うことにより仲間意識を深めることができます。 (2)グループの仲間と話し合っ順路を決定したり、ポイントの課題を解決したりすることで、グループの凝集力を高めることや、コミュニケーション力をつけることが期待できます。			
準備する物	青少年交流の家が貸し出す物		団体(個人)が準備する物	
	<input type="checkbox"/> グループ: コマ図、クリップボード、ゼッケン <input type="checkbox"/> 団体: 緊急連絡用無線、トランシーバー		<input type="checkbox"/> 個人: 帽子、水筒、必要に応じて雨具タオル等 <input type="checkbox"/> 団体: 救急バッグ、グループ名簿、緊急連絡簿等	
活動内容 (手順)	所要時間	項目	内容	備考
	事前	コース決定 事前準備・指導	<input type="checkbox"/> コースを決定し、計画書を実施前に提出 <input type="checkbox"/> 引率者による事前踏査(④) <input type="checkbox"/> グループ編成	<input type="checkbox"/> 実施計画書(③)
	出発前	実施決定の判断	<input type="checkbox"/> 実施判断(④) <input type="checkbox"/> 物品を受領(貸し出し物品参照) <input type="checkbox"/> 参加者の健康観察 <input type="checkbox"/> 本部設置	<input type="checkbox"/> 参加者名簿の提出 <input type="checkbox"/> 机といすを守衛室から搬入
	直前 10分	活動方法の説明 安全指導(①)	<input type="checkbox"/> 活動の説明(②) ・競技の方法 ・コマ図の見方 ・安全指導	<input type="checkbox"/> 出発前にトイレを済ませる。
	出発 60分～ 270分	交流の家出発	<input type="checkbox"/> 時間差をつけて出発 <input type="checkbox"/> 3.5km、7km、10km、12km 各ポイントで人数確認、健康観察	<input type="checkbox"/> 緊急時対応 <input type="checkbox"/> 定時連絡
	終了 30分	交流の家到着 事後指導	<input type="checkbox"/> 参加者の点呼、健康状態の確認 <input type="checkbox"/> 各団体の目的に応じた事後指導	
想定される リスク	<input type="checkbox"/> 天候の変化による事故(濃霧による迷子、雨による路面転倒、落雷等) <input type="checkbox"/> 疲労や集中力不足の事故(信号無視接触事故、走行車両の見落とし、熱中症等) <input type="checkbox"/> 道路環境による事故(側溝への転落、曲がり角での事故等) <input type="checkbox"/> 人的要因で起こる事故(車道に広がったの接触事故、ふざけての事故等)			
指導の バリエーション	<input type="checkbox"/> 得点を競う競技として実施することができます。 <input type="checkbox"/> 各ポイントの課題を、ねらいに応じて設定します。 (例)自然に親しむような課題を出す 「ポイント近くで生えている草をスケッチすること」			

※①、②、③、④は資料番号を示す

## やり方の説明・安全指導

### 【準備する物】

- (1) 個人が準備する物
- 靴(はき慣れた靴をご使用ください。)
  - 雨具(セパレートタイプの物が望ましいです。防寒具にもなりますので、しっかりとしたものをご準備ください。)
  - 帽子(日射病の予防やケガ防止になります。)       水筒・タオル
- (2) 団体が準備する物
- 救急用品(捻挫や切り傷など、日射病などに対応した医薬品等)
  - 携帯電話(場所によって通話が難しい場合もあります。)
  - コース地図・ホイッスル・緊急連絡先リスト・参加者名簿(血液型、既往症等)

### 【やり方の説明】

- (1) コマ図をもとに順路を探しながら歩き、最後はゴールに戻ります。
- (2) コマ図の見方は、資料②を参照してください。
- (3) 最短時間を競ったり、予め設定した時間との差の少なさを競ったりします。
- 例1 今回は、「どのグループが早いか、時間を競います。」
- 例2 今回は、「設定時間との差の少なさを競うこととします。目標時間は、○分です。」
- (4) コース上にポイントを設定して、問題を解かせることもできます。また、問題に得点を与え、時間に加算するようなこともできます。
- 例1 「コースにポイントを設定しています。各ポイントに問題がありますので、解いてください。」
- (5) スタートは、グループごとに時間差をつけます。

### 【安全指導】

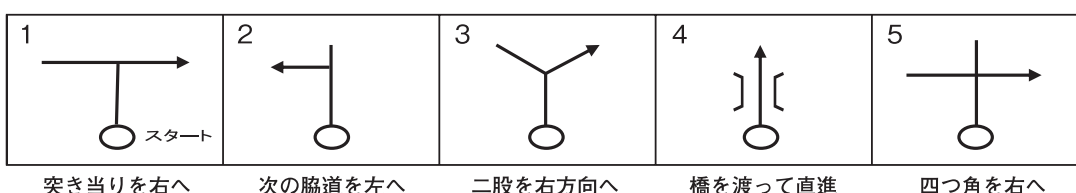
- (1) グループ全員がまとまって行動してください。数人で分かれたり、一人を置いておいたりすると事故につながります。
- (2) 交通ルールを守ってください。
- ・道路は通行量が多く、大型車両も通りますので、十分に注意してください。
  - ・車道に広がるようなことはしないでください。1列か2列にしてください。
- (3) 公衆道徳を守ってください。
- ・民家に無断で入ったり、大きな声で話して歩いたり、ゴミを落としたりしないでください。
  - ・トイレは公衆トイレを使ってください。なお、近くに公衆トイレがない場合は、民家の方に事情を話して借りるようにしてください。
  - ・道一杯に広がって歩いたり、ゴミを落としたり、大きな声で話したりといった苦情が、中央交流の家に寄せられています。
- (4) 熱中症にならないために、のどが渇く前に水分をこまめに補給しましょう。
- (5) 道に迷った、メンバーに体調が悪い人が出たなど、アクシデントがあった場合は、引率者がいる「○」(団体が指定)まで来てください。
- ・電話番号を伝えるなど、緊急な場合の対応を予め連絡しておいてください。
- (6) 雷が鳴ったり、大雨が降ってきたりといった場合は、近くの建物に避難してください。

## ウォークラリーの説明（コマ図の見方とコース紹介）

### 【コマ図の見方】

(1) 下図の○印が自分の立ち位置となります。図の上方が前方を指し、矢印が進行方向を示します。例えば、下図1は「前方に進み、交差点を右に曲がる」、下図2は「前方に進み、交差点を左方向に進む」ということとなります。

(2) 下図の下段は、「建物」「石碑」「橋」等の目印になるものの記号です。他にも記号として使われているものがあります。



突き当りを右へ

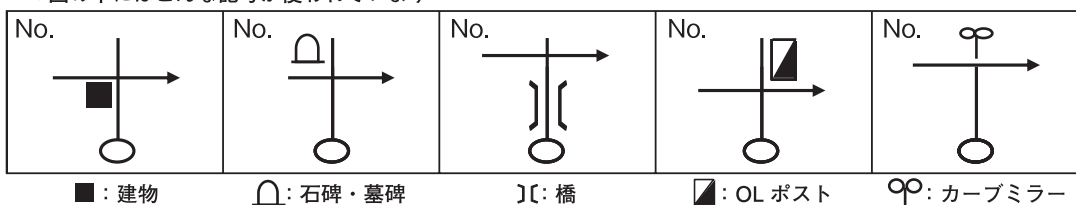
次の脇道を左へ

二股を右方向へ

橋を渡って直進

四つ角を右へ

コマ図の中にはこんな記号が使われています



■：建物

⌒：石碑・墓碑

⌒：橋

▴：OLポスト

∞：カーブミラー

### 【ウォークラリーコース】

(1) 交流の家のウォークラリーコースは、「4つの距離（3.5km、7.0km、10.0km、12.0km）」があり、各距離に4つのコースがあるので、計16コースになります。

(2) 活動時間は、団体の人数や実施方法（グループの出発間隔の時間）で異なります。次の計算方法を参考にしてください。

$$\text{説明(20分)} + \text{出発間隔時間} + \text{歩行時間} + \text{まとめの時間(30分)} = \text{活動時間}$$

### (3) 各コースの概略

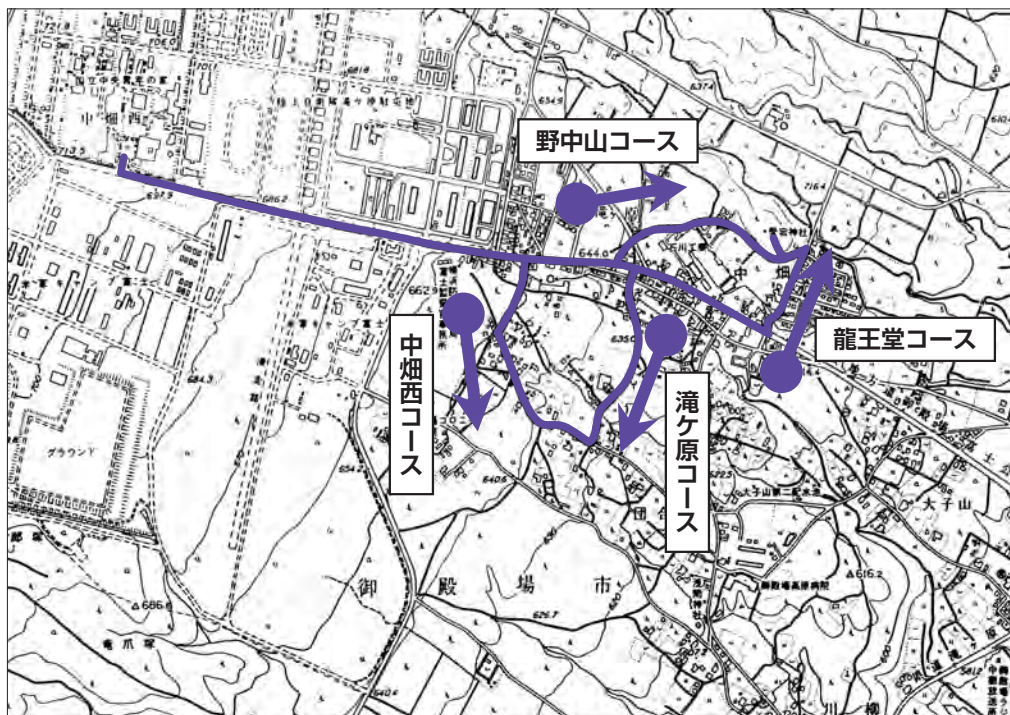
コース名	対象	歩行時間	特徴	
中畑西、滝ヶ原	3.5km	小学生以上	1.0～1.5h	住宅地の舗装道路を歩く。
野中山、龍王堂				
大胡山、団合	7.0km	小学生以上	2.0～3.0h	周囲に田畑が多く、景色がよい。 寺や神社を見ながら、住宅地を歩く。
善龍寺、愛宕神社				
久保川・永塚	10.0km	中学生以上	3.0～3.5h	直線道路が多く、緩やかな坂がある。 曲がり角が多い住宅地を歩く。
八王子、玉穂				
御胎内、赤坂	12.0km	高校生以上	3.5～4.5h	舗装された広い道を歩き、折り返し点での休憩が可能。 林道と舗装道路が交互に続き、景色の変化を楽しむ。
鍋有沢、馬頭塚				

※最新版は交流の家へお問い合わせください。

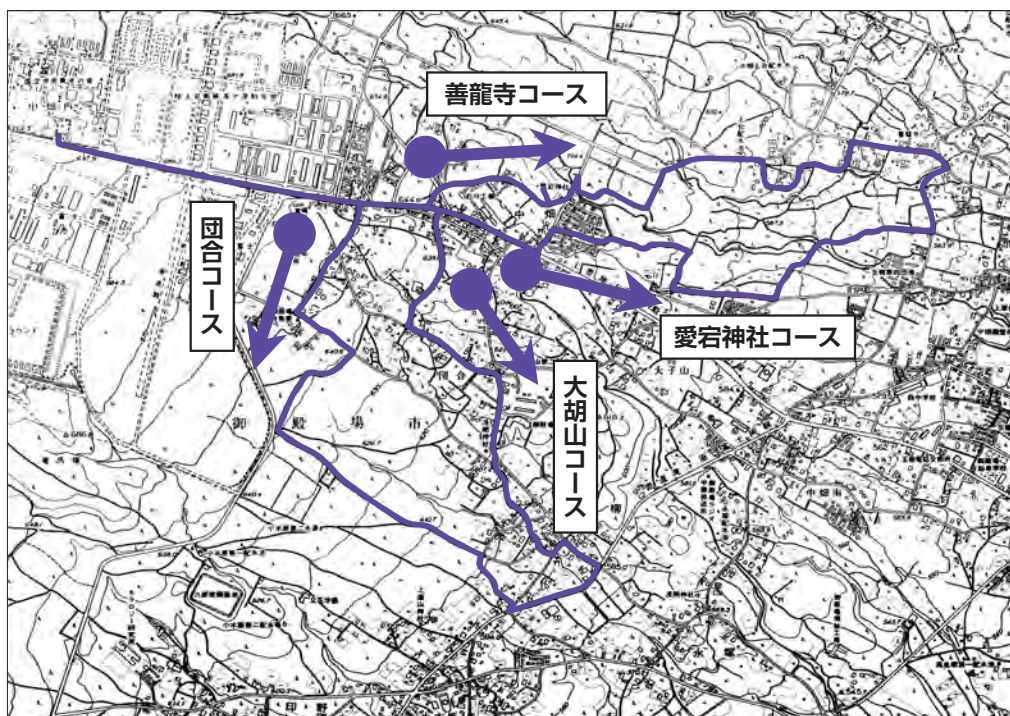
資料②

## ウォークラリーコース (3.5km、7.0km)

### 3.5kmコース



### 7.0kmコース



プログラムの企画等の資料

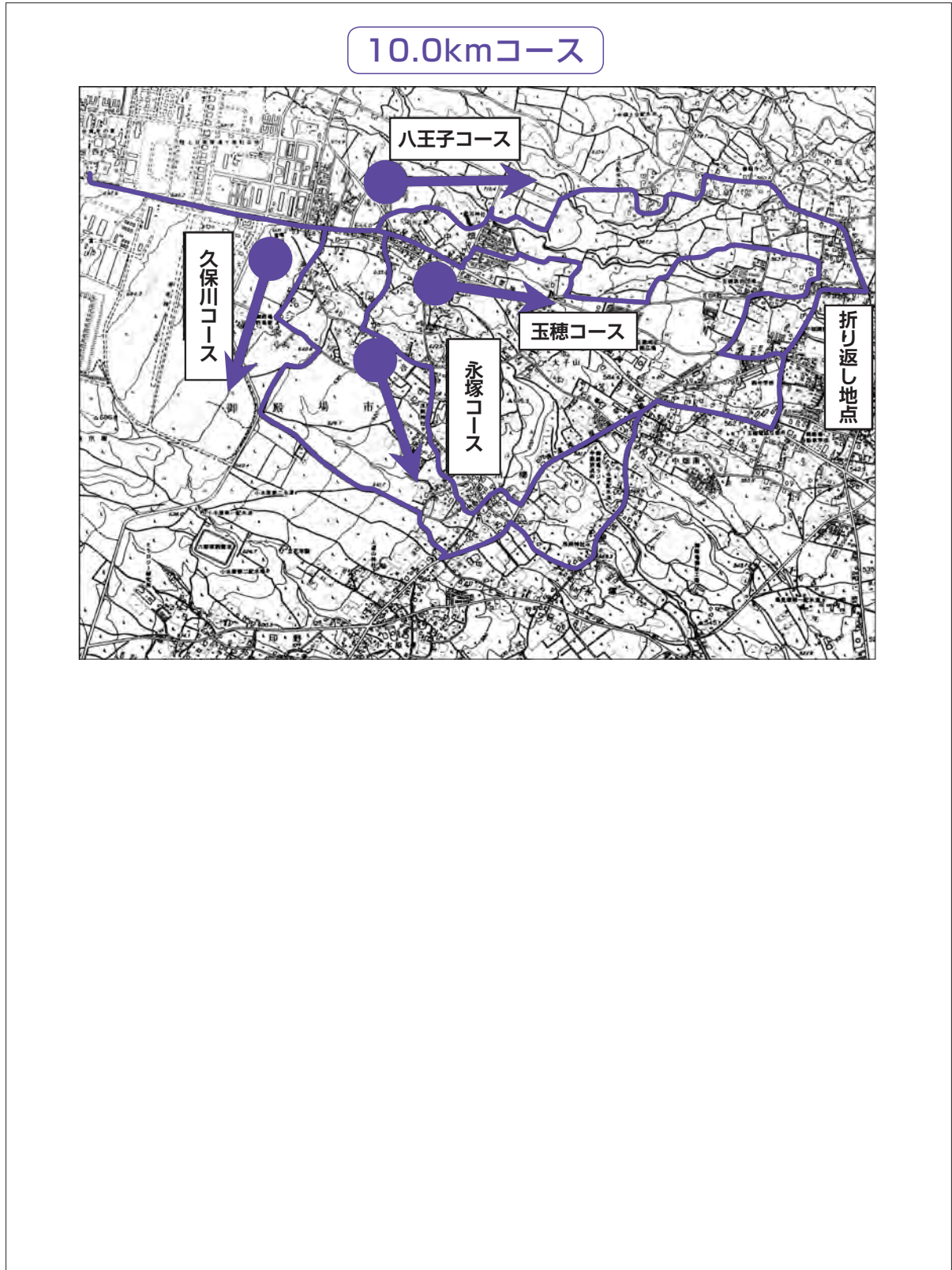
自然体験活動プログラム

屋内活動プログラム

地域指導者ガイド

中央交流の家周辺プログラム

## ウォークラリーコース (10.0km)

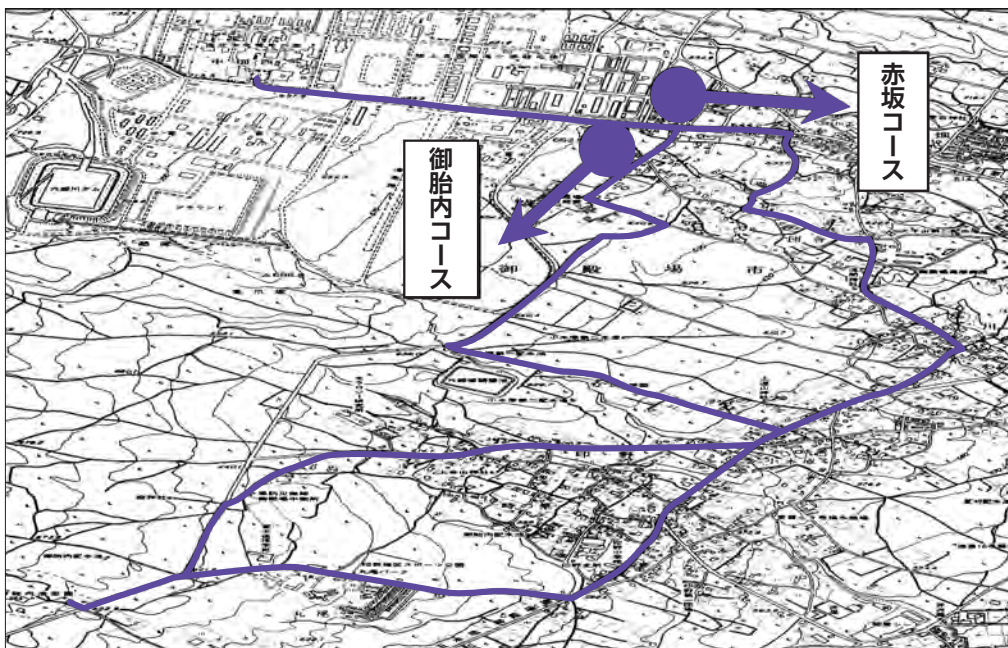


※最新版は交流の家へお問い合わせください。

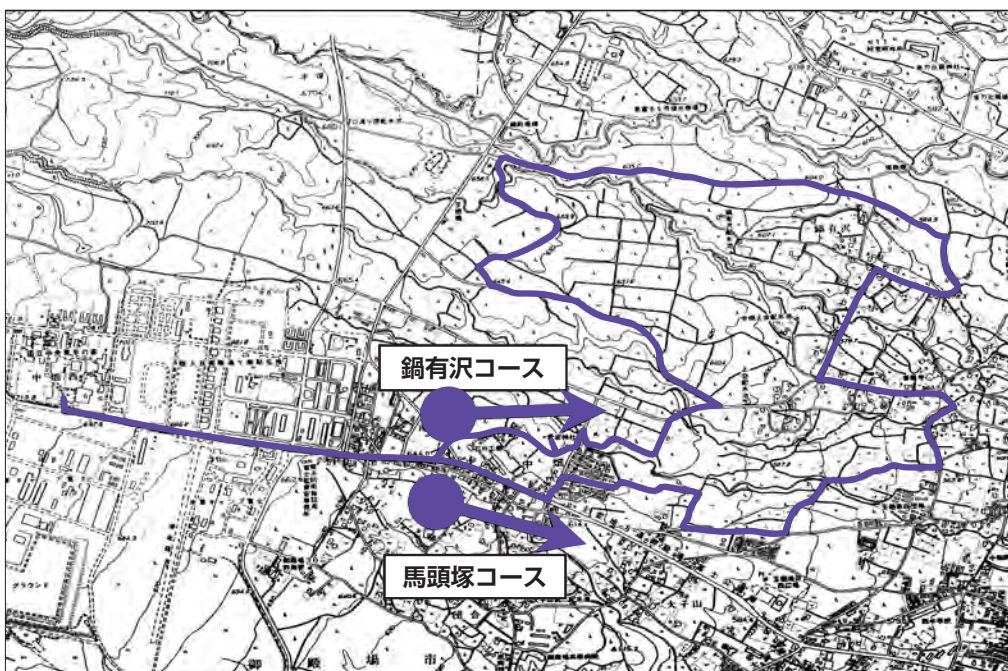
資料②

## ウォークラリーコース (12.0km)

12.0kmコース①



12.0kmコース②



プログラムの企画等の資料

自然体験活動プログラム

屋内活動プログラム

地域指導者ガイド

中央交流の家周辺プログラム

## ウォークラリー実施計画書

## 《ウォークラリー実施計画書》

◎天候の急な変化や事故発生時等の速やかな対応のため、プログラム開始前までに提出してください。

◎活動グループ別の名簿を作成し、添付してください。（様式は問いません。）

団体名					
実施日	令和 年 月 日 ( )				
活動時間	開始時間			終了時間	
本部設置場所		担当者 氏名		拠点 指導	人 巡回 指導 人

◎コースを利用して活動する場合は、下表にコマ図必要枚数（グループで1枚）を記入してください。

3.5 kmコース		7 kmコース		10 kmコース		12 kmコース	
なかばたにし 中畑西	のなかやま 野中山	だんごう 団合	ぜんりゅうじ 善龍寺	ながつか 永塚	たまほ 玉穂	あかさか 赤坂	なべありさわ 鍋有沢
枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚
たみがはら 滝ヶ原	りゅうおうどう 龍王堂	おおこ やま 大胡山	あたごじんじや 愛宕神社	くぼ かわ 久保川	はちおうじ 八王子	おたいない 御胎内	ばとうづか 馬頭塚
枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚	枚

◎当日の引率者数と参加人数を記入してください。

参加人数	引率者		幼児		小学生		中学生		高校生		大学生以上		参加者合計人数		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	合計

◎団体の代表者と引率者の氏名・連絡先を記入してください。

団体代表者	*実施の総責任者職名・氏名	携帯電話
引率責任者 (緊急連絡先)	*引率の責任者職名・氏名	携帯電話

◎当日の不参加者について、指導者と不参加者について記入してください。

不参加者 氏名				
指導者			携帯電話	
活動場所			活動内容	

◎設定コース以外で実施する場合のみ下記にご記入ください。また、コース地図を事前に提出してください。

予定時刻	目的地（チェックポイント）	事故防止対応策
	国立中央青少年交流の家 出発	
		交流の家との定時連絡
	国立中央青少年交流の家 到着	

## ウォークラリーを安全に実施するために

### 【事前踏査】

- (1) 引率者等が実施予定コースを歩き、コースを知り、危険箇所等を把握することが安全管理の第一歩ですので、事前踏査をお願いします。
- (2) 都合で実施できない場合は、中央交流の家の職員から情報を得るようにしてください。
- (3) 事前踏査のポイント
  - ① 実施1ヶ月から2週間前程度が望ましいです。
  - ② コースの確認と、危険箇所や課題の検討等を確認します。
    - ・危険箇所確認：交通事故に巻き込まれそうな箇所、道に迷いそうな所 等
    - ・ポイント以外の場所でも、コース上で学校独自の課題（木々や草花の名前や自然物の観察等）を設定することもできます。
  - ③ トイレ等を確認します。
    - ・コース上のトイレ（公園、コンビニ、神社等）の場所を確認します。
  - ④ 巡回車両のルートを確認し、見回りの計画をつくる。
    - ・当日、車両を駐車する場所、車両が入れない場所を確認しておくことで、指導者が困らないようにすることが大切です。

### 【安全管理】

- (1) 事故が起こった時の対応
  - ① 事前に、傷病者が出た場合、誰が・どのように対応するかを決めておきます。
    - ・連絡方法は、参加者に各ポイントの指導者に連絡をとる、民家をお願いする等の具体的な方法を参加者に伝えることが大切です。
  - ② 引率者、学校、保護者等の関係者への連絡方法を決めておきます。
  - ③ 万が一の事故に備え、中央交流の家の連絡方法を確認しておきます。
- (2) チェックポイントやゴールでは人員確認と参加者の健康状態を確認します。

### 【実施の判断】

- (1) 中央交流の家（標高707m）の天候は変わりやすく、平地と違い天気が崩れやすいため、実施の判断に迷う場合があります。
  - ・警報が発令された場合は中止にします。
  - ・また、6月～9月にかけて濃い霧が発生します。霧はコマ図にかかれた目印を見落とすだけでなく、交通事故にも結びつく要因にもなりますので、霧が出ている場合、実施前に職員とよくご相談ください。
- (2) 中央交流の家が実施不可能と判断した場合は、中止するようにお願いします。
  - ・小雨等で実施可能と中央交流の家が判断した場合でも、参加者の体調等を考慮し、団体が中止することはできますので、よく中央交流の家と相談するようにお願いします。
- (3) ウォークラリー中に天候が悪く「雷雨や濃霧」などの理由で、危険と判断した場合は中止してください。また、引率者は気温や交通状況などから、継続不可能と判断した場合にも中止してください。